

公告 昭 37.6.27 出願 昭 35.5.9 実願 昭 35-25688

出願人 考案者 富 田 道 弘 京都市中京区西の京馬代町22.
代理人 弁理士 竹 川 和 三 郎

(全3頁)

プレス型用ダイセット

図面の簡単な説明

図面は本考案品の一例を示せる斜面図である。

考案の詳細な説明

従来公知のプレス型用ダイセットは、そのガイドポストが円柱体である為に、頻度の高い使用によつて円柱体のガイドポストを磨耗せしめる事が速く、その為に最初は極く僅少の磨耗であつても使用を重ねるにつれてその磨耗度が強くなり、ポンチホルダーの均衡性ある正確な上下運動が阻害される結果ポンチホルダーのプレス効果に狂いが生じて、所望の製作品を得る為の正確な作業効果を挙げられない事が欠点がある。しかしてこのように円柱体のガイドポストが磨耗した場合に、その円柱体を取換える事は必要であるけれども、その磨耗の程度が僅少のときは取換える事をなせずに使用を続ける事が実情である為に、どうしても正確な所望の製品効果を挙げる事は難しく、結局はある程度まで磨耗してから、ガイドポストを取換える事になるゆえに検定規格に合わないような不合格品をも止むなく製作する事になるものであるが、単にそれだけでなく、この従来の円柱体のガイドポストはその磨耗を待つてこれを取換えて新しいものを用いねばならない為に操業上にも不便がある事によつて、不経済である事も大きな欠点である。よつて本考案はこれらの欠点を除去すると共に長く使用が可能であつて経済的に有益であり、かつ正確な製作品効果の挙がる事を目的としているものである。

本考案はプレス型用ダイセットにおいて、ダイホルダー1に二等辺梯形柱体のガイドポスト2, 2を固定し、二等辺梯形柱体のガイドポスト2, 2の外面の左右の傾斜面3, 3の傾斜角度にスライドせしめてカミソリ4, 4を挟押圧せしめ、カミソリ4, 4に穿設したネジ孔にネジ5, 5, 5, 5をもつてポンチホルダー6の両側面にネジ着しポンチホルダー6に突縁7, 7を作り、突縁7, 7をカミソリ4, 4に接触せしめ、突縁7, 7に穿設したネジ孔にネジ8, 8, 8, 8をもつてカミソリ4, 4をそれぞれ押圧してネジ通して締め付

けをなしガイドポスト2, 2とポンチホルダー6との接触部に陥設部を設けて押え金9, 9を介在せしめ、ガイドポスト2, 2に注油孔10, 10を穿孔して成るプレス型用ダイセットの構造に係るものである。

本考案は上記のとおり、ポンチホルダー6を上下に移動せしめるガイドポスト2, 2をいずれも二等辺梯形柱体に形成すると共に二等辺梯形の頂辺をそれぞれ外方に位置せしめてこれをその二等辺梯形の傾斜度に合わせて作つたカミソリ4, 4をもつて接触せしめて挟着してあるからガイドポスト2, 2はいずれもカミソリ4, 4の間を上下に移動せしめられる作用効果がある。

しかしてガイドポスト2, 2に接触して挟着せしめたカミソリ4, 4はいずれもポンチホルダー6に正確にネジ5, 5, 5, 5をもつてネジ着してあるから、ポンチホルダー6は正確にガイドポスト2, 2に沿いて上下運動せしめる事が出来るしかして使用につれてガイドポスト2, 2の各接触傾斜面3, 3およびカミソリ4, 4の接触面とが僅少の磨耗を生ぜしめる事によつて、ポンチホルダー6の上下運動に不正確な事が生じた場合にはカミソリ4, 4を押圧しているところのネジ8, 8, 8, 8をそれぞれ適宜に締め付けるとネジはカミソリ4, 4を押圧して調整するゆえに、ガイドポスト2, 2とカミソリ4, 4の間の僅少なる間隙は調整されて、元のような正確なガイドポスト2, 2とカミソリ4, 4との構成に調整し得られるをもつて、ポンチホルダー6の上下運動は常に正確に保持される作用効果がある。

しかしてネジ8, 8, 8, 8のネジ締め操作は必要に応じ適時に簡単容易に出来るために便利であるとともに、常にこのような操作によつて正確にガイドポスト2, 2に沿うてポンチホルダー6が上下運動せしめられることによつて所望の製作品を作る場合に、狂いや、噛み合い、または中心のずれることなどが無いから、正確な製作品を作るをもつて検定規格について不合格品を生ぜしめない作用効果は多大なものである。

しかるに従来の円柱体のガイドポストでは、それが磨耗した場合には取換えねば元のような正確なポンチホルダーの上下運動が出来ないことが欠点である。しかしながら僅少の磨耗の場合にはその円柱体のポンチホルダーを取換えることがいまだ早いこととして躊躇される結果、止むを得ずその磨耗の加わったポンチホルダーをそのまま続けて使用するためにポンチホルダーの上下運動に若干の歪みや狂いを生ぜしめ、所望の製作品の小さいものなどの場合にはその中心を外れたようなものを作ることにもなつて不合格品、または不合格品に近いような製品を作ることが止むを得ない結果となつて生じ、不経済な無駄をするとともに作業能率が著しく減ぜられることが不利益である。

しかして従来のこのような円柱体のガイドポストはやや磨耗してポンチホルダーの上下運動で不正確になつた場合には、結局取換えねば使用に値いせないものであるために不経済であることがさらに欠点である。

本考案の二等辺梯形柱体のガイドポストの活用によつて磨耗の際自由に調整できるから、長期の使用に適切である。またこの二等辺梯形柱体のポスト面が平面であることが特色であるから、ポストの調整が円柱体のものに比べて調整し易く簡単である利便がある。しかしてガイドポストは常に締めつけられている状態であるからこのダイセットを使用中に変更圧力がかかる際に、ポンチホル

ダーの面が傾くことがほとんど生じない長所がある。従つて本考案のものは1本のガイドポストだけでも役立つところのプレス型用簡易ダイセットを作れるゆえに便利であるなど多くの実用的効果あらしめたものである。

なお本考案の二等辺梯形柱体のガイドポストは従来の円柱形と異なり上記のごとき作用効果があるから1本乃至数本を用いて正確な作用効果あるものを作ることが出来る。

実用新案登録請求の範囲

図面に示すように、プレス型用ダイセットにおいて、ダイホルダー1に二等辺梯形柱体のガイドポスト2、2を固定し、二等辺梯形柱体のガイドポスト2、2の外面の左右の傾斜面3、3の傾斜角度にスライドせしめてカミソリ4、4を挾押圧せしめカミソリ4、4に穿設したネジ孔にネジ5、5、5をもつてポンチホルダー6の両側面にネジ着し、ポンチホルダー6に突縁7、7を作り突縁7、7をカミソリ4、4に接触せしめ、突縁7、7に穿設したネジ孔にネジ8、8、8をもつてカミソリ4、4をそれぞれ押圧してネジ通して締め付けをなし、ガイドポスト2、2とポンチホルダー6との接触部に陥設部を設けて押え金9、9を介在せしめ、ガイドポスト2、2に注油孔10、10を穿孔して成るプレス型用ダイセットの構造。

